



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.8.5 No. 4635

恒常的スト体制を強化 しよー 支部代表者会議開催

動労千葉は、八月四日一三時より、動力車会館において第四回支部代表者会議を開催し、恒常的スト体制の強化を中心とした当面する取り組みについて決定した。

ガイドラインと
国鉄闘争前進

日米安保の新ガイドライン策定における、六月中旬報告一九月日米安保協定における最終合意一昨年通常国会での有事法整備を許してはならない。

新ガイドラインは、直接的には、朝鮮侵略戦争を想定した作戦計画の軍事協定だ。単に「日本周辺有事」にさいして、「自衛隊がどう動くか」というような問題ではなく、労働運動はもちろんのこと、戦争政策が社会と国民生活の全てをのみ込んでしまうような内容をもつものだ。

橋本内閣の行革も、こうした新ガイドラインと一体の国家改造攻撃としてある。財政構造改革、金融システム改革、経済規制緩和、社会保障制度の規制緩和、首相権限強化一治安・国防・外交中心の省庁再編・・・特に労働基準法一労働法制の抜本的な解体攻撃は、①労働者の完全無権利化、搾取・収奪の極限化、②団結の破壊、労働運動の解体、③労働者の戦争動員を目指すもので、この間の歴史が証明しているとおり、労働法制の改悪は、常に治安立法、有

事立法一戦争と表裏一体のものだ。
ガイドラインとの闘いは、労働者、労働運動にとって最大の課題であることについてキチンと自覚しよう。

こうした、「新ガイドライン」情勢下で国鉄闘争が正念場中の正念場をむかえている。

戦争体制をつくるということには、国家総動員一国民総動員に向けて、内部における戦争反対勢力、戦闘的労働運動をたたきつぶすといふことだ。

分割・民営化攻撃の破綻とタイムリミット、清算事業団一〇四七名をめぐる、国鉄労働運動の解体攻撃が激化している。政府・支配階級は、国労を和解路線に引きずり込むことによつて、国労が国労でなくなることを、国労がその内部から変質し、国労と国鉄闘争を終焉させようとしている。

動労千葉は、JR東日本の「革マル結託体制」との組織攻防戦に勝ち抜き、国鉄闘争の発展・勝利へ前進する。
当面、異動通知の「凍結」問題を中心に以下の表のとおり、いつでもストライキに入れる体制を強化しよう。

ストライキ!!!

- 次の場合、いつでもストライキを実施する。
- (1) 千葉運転区及び館山運転区への要員操配が早急に行なわれない場合。
 - (2) 人事異動について、意図的な人選が行なわれた場合。
 - (3) 不当な労務政策の是正が速やかに行なわれない場合。
 - (4) JR東労組と結託した新たな不当労働行為や組織破壊行為が明らかとなった場合。
 - (5) 年休抑制、交番変更の強制、所定以外の業務の強制、運転保安を無視・軽視した業務の強制等、不当な業務運営が行なわれた場合。

許すな憲法改悪!
阻ちよ有事立法!
8.15
労働者市民の集
● 8月15日(金)
13時~
● 中野ゼロホール

示せ、動労千葉の威力・
団結ガンバロー!!!

9.23
ガイドラインを粉砕